Maki Mori
Soprano Recital

森麻季

ソプラノ・リサイタル

山岸茂人／ピアノ

©Yuji Hori

日本を代表するオペラ歌手が、4年ぶりに文翔館に登場。
透明感のある美声で魅了します。

令和4年 12/16 Fri

18:00 開演／17:15開場

文翔館 議場ホール

9月30日（金）チケット発売

入場料 全席自由

一　　般：3,200円／【当日券】3,700円
高校生以下：1,600円／【当日券】1,900円

当日券は残席がある場合のみ販売します。

チケット取扱

文翔館・辻楽器店・富岡本店・八文字屋本店POOL・ローソンチケット【Lコード：22215】・チケットぴあ【Pコード：222-366】・e+

未就学児のご入場はご遠慮ください。臨時託児所をご利用ください。

臨時託児所 ／ 無料／要予約／一歳以上の未就学児対象

プログラム

久石譲：Stand Alone～NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」メインテーマ
J.S.バッハ：主よ、人の望みの喜びよ～「カンタータ」第147番より
ドヴォルザーク：歌劇「ルサルカ」より“月に寄せる歌”
ヘンデル：シオンの娘よ、大いに喜べ～「メサイア」より
アダン：O holy night
ベッリーニ：歌劇「ノルマ」より”清らかな女神よ”
プッチーニ：歌劇「ジャンニ・スキッキ」より 私の愛しいお父さま
プッチーニ：歌劇「ラ・ボエーム」より“私が街をあるけば”
他

※曲目・曲順は予告なく変更になる場合がございます。

主催／山形県・公益財団法人山形県生涯学習文化財団
お問合せ／文翔館　TEL 023-635-5500

新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力のお願い
●体調が優れない方はご来場をお控えください。　●マスクは常時ご着用ください。
●予めチケット半券にお名前・ご連絡先をご記入ください。　●新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をご利用ください。

文化庁
令和4年度 文化庁
文化芸術創造拠点形成事業

Maki Mori Soprano Recital

Artist Maki Mori　Date Friday, December16th, 2022　Time Open 17:15 / Start 18:00
Program Puccini：O mio babbino caro and others　Venue Assembly hall of Bunshokan
Contact 3-4-51 Hatago-machi, Yamagata-shi 023-635-5500　Day care center Free / Reservation required

※本公演の開催について変更が生じる場合には、文翔館HPに掲載いたします。また、開催変更の場合を除き、いかなる場合もチケットの払い戻しは行いません。

文翔館HPはこちら

©Yuji Hori

森 麻季
ソプラノ

Maki Mori【Soprano】

東京藝術大学、同大学院独唱専攻、文化庁オペラ研修所修了。ミラノとミュンヘンに留学し、P.ドミンゴ世界オペラコンクール「オペラリア」等多数の国内外のコンクールに上位入賞を果たす。ワシントン・ナショナル・オペラ《後宮からの逃走》でアメリカ・デビュー。その後、ルイージ指揮ドレスデン国立歌劇場《ばらの騎士》、エディンバラ音楽祭 《リナルド》、ノセダ指揮トリノ王立歌劇場《ラ・ボエーム》に出演し、国際的な評価を得る。2015年兵庫県立芸術文化センターオペラ《椿姫》、2017年BCJ歌劇《ポッペアの戴冠》でタイトルロールを好演。コンサートではアシュケナージ、テミルカーノフ、インバル、小澤征爾、パーヴォ・ヤルヴィ等の著名指揮者やNHK交響楽団、フランクフルト放響等の内外の主要オーケストラ、ドレスデン聖十字架合唱団と共演し成功を収める。透明感のある美声と深い音楽性は各方面から絶賛され、NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」メインテーマや2016年文部科学省主催WFSC公式イベントに出演するなど、日本を代表するオペラ歌手として常に注目をあびる。デビュー20周年記念アルバム「至福の時～歌の翼に」をリリース（エイベックス・クラシックス）。2022年より国立音楽大学客員教授。安宅賞、ワシントン・アワード、五島記念文化賞、出光音楽賞、ホテルオークラ賞受賞 。

https://twitter.com/makimori_sop

山岸 茂人
ピアノ

Shigeto Yamagishi【Piano】

東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、同大学大学院（音楽学専攻）修了。在学中に安宅賞受賞。 古典から近代にわたるイタリア歌曲を嶺貞子氏に、ドイツ歌曲を佐々木成子、ライナー・ホフマン各氏より学ぶ。 ピアノを川口恒子、渡辺健二、高出紘子の諸氏に、また、音楽学を船山隆、本田脩の各氏に師事。 声楽の伴奏者としては演奏家から常に深く信頼され、これまで著名な歌手と数多く共演を重ねる。現在、東京藝術大学声楽科伴奏助手、二期会イタリア歌曲研究会ピアニスト。

©横井明彦

国指定重要文化財 山形県旧県庁舎および県会議事堂

山形県郷土館「文翔館」

文翔館は創建から100年を超える歴史を持つ、山形県旧県庁舎および県会議事堂です。大正初期の煉瓦造公共建築として数少ない遺構で意匠的にもすぐれ、県庁舎と議事堂及びそれらを繋ぐ渡り廊下が一体となって保存されていることなどから、国の重要文化財に指定されました。また、文翔館のシンボルともいえる塔時計は、日本で現在稼働しているもののなかでは2番目に古く、5日に一度、手動で分銅を巻き上げることで時を刻み続けています。
現在は、貴重な文化財として建物の保存・公開のほか、郷土についての常設展示コーナーを設けています。さらにはギャラリー、会議室、ホールの貸出を行うなど、多目的な文化施設として県民へ文化活動の場を提供しています。

1877（明治10）年
山形県庁舎が完成

1883（明治16）年
山形県会議事堂が完成

1911（明治44）年
山形市北大火により両棟が焼失

1916（大正 5 ）年
両棟が同地に再建（のちの「文翔館」）

1984（昭和59）年
国の重要文化財に指定

1986（昭和61）年
保存復原工事が開始

1995（平成 7 ）年
山形県郷土館（愛称:文翔館）として開館

2016（平成28）年
創建100周年を迎える

旧県会議事堂（議場ホール）について

旧県会議事堂は煉瓦造2階建てで、当初から公会堂として広く市民にも利用できるよう建設されたため、議員席も固定席ではなく、県議会がない時は演奏会や講演会などに使用されていました。1986（昭和61）年からの保存復原工事では、かまぼこ型のヴォールト天井や左右の列柱、リノリウムの床、壁紙などが復原され、往時の華やかな雰囲気が蘇りました。
現在では、県の公式行事やコンサート、結婚式など様々な場面で県民の皆様に親しまれています。

～ご来場に際しご注意とお願い～

●館内での飲食、敷地内での喫煙はご遠慮ください。
●床材保護のため、傷が付きやすいお履物(ピンヒールやスパイク、下駄など)での入場はご遠慮ください。また、傘など床が濡れてしまう物のお持込はご遠慮ください。
●床が平面のため、お席によっては舞台が見づらい場合がございます。何卒ご了承ください。
●ロビーやホワイエのような待合スペースがないため、開場時間までは旧県会議事堂(議場ホール)内への入館をお断りいたします。外には雨風を凌げる場所がございませんので、十分な防寒・暑さ対策のうえご来館ください。開館時間(9:00～16:30)中は旧県庁舎内をご見学いただけます。カフェ(10:00～16:30 L.O.16:00)もございますのでぜひご利用ください。

■アクセス
山形駅よりベニちゃんバス中心市街地行き市役所南口下車徒歩5分
駐車場は文翔館の北側にございます。（無料・約40台）
※満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。
（割引サービスはございません。）

山形県郷土館
文翔館

〒990-0047 山形県山形市旅篭町3丁目4番51号
指定管理者：公益財団法人山形県生涯学習文化財団
TEL 023-635-5500 FAX 023-635-5501
URL https://www.gakushubunka.jp/bunsyokan/